



不登校傾向の子どもを支援する先生のための ティーチャー・トレーニング

不登校や発達障害の子どもたちの多くは、自尊感情や意欲が低下していることが多く、生きづらさを感じていることがあります。その様な子ども達は、対人関係において問題を抱えることも少なくありません。

UCLAで開発された『ペアレント・トレーニング』をもとにした『ティーチャー・トレーニング』は、そういった困難な状態の子どもたちの自尊感情・意欲を高め、人との関わり方を考えるもので、先生方が円滑な学級運営を行うことができるようになるトレーニングです。

開催日時 **2024年 8月23日 金**
9:30～16:00

定員 50名(申込み先着順)

場所 奈良教育大学 山田ホール

参加費 1000円(資料代込み)

講師 生田周二(奈良教育大学 ESD・SDGsセンター 特任教授)
櫻井恵子(奈良教育大学 ESD・SDGsセンター 研究部員)
櫻井裕子(奈良教育大学 ESD・SDGsセンター 研究部員)

お申込み・お問い合わせは裏面参照。 **申し込み〆切→8月20日(火)**

主催：奈良教育大学 ESD・SDGsセンター 学校・地域教育支援領域
共催：子ども・若者支援専門職養成研究所

プログラムの内容

—《9：30～11：00》—

- ・ 第三の領域・居場所
- ・ 不登校の子どもの理解と自尊感情

不登校の子ども達が置かれている状況や、彼らの心理、自尊感情の状態を理解するとともに、不登校支援において重要な第三の領域についての知識を習得します。

—《11：10～12：10》—

- ・ ティーチャー・トレーニングの基礎
- ・ 好ましい行動を増やす(行動の三分類)
- ・ 上手なほめ方のコツ

ティーチャー・トレーニングの基本的考え方を簡単に分かりやすく学びます。子どもを褒めたほうがいいのは分かっているけれど、褒めることがなかなか見つからない！いつまで褒め続けたいの？そんな悩みを解決しましょう。

—《13：20～14：50》—

- ・ 効果的な指示の出し方(CCQのスキル)
- ・ 好ましくない行動への対応方法
- ・ 能動的な話の聞き方

子ども達が素直に行動できる、上手な指示の出し方のコツを学びます。また、子どもの困った行動、好ましくない行動への対応方法を学びと共に、子ども達のネガティブな感情にどのように対応していったら良いのかを考えます。

—《15：00～16：00》—

- ・ 学校での対応方法
- ・ ポリヴェーガル理論からの不登校支援
- ・ 全体の振り返り

学校での不登校の子どもへの対応方法について具体的に学びます。学校復帰の方法や注意点、家庭訪問や別室での支援など、ちょっと悩んでしまうことのある場面でのように対応していったらよいのかについて考えます。

お問い合わせ・お申し込み方法

参加の申し込みは、奈良教育大学 子ども・若者支援専門職養成研究所にて受け付けております。必要事項を記載の上、Googleフォームにてお申し込みください。

★Googleフォーム

右記のQRコードを読み込み、Googleフォームにてお申し込み下さい。

申し込み〆切→8月20日(火)



★研修に関するお問い合わせは、下記のメールアドレスにて受け付けております。

メール：yuko-sakurai@cc.nara-edu.ac.jp
＜担当：奈良教育大学 ESD・SDGsセンター 櫻井裕子＞

